

平成 30 年度 学校評価報告書 (実施結果)

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p>&lt;教育課程・学習指導&gt; 国際教育を推進し、質の高い英語教育と多様な言語や文化を学ぶことにより、豊かな世界観を身に付け、国際社会の課題を認識し、問題解決能力を発揮してグローバルリーダーとして活躍できる人材の育成を図る。</p>	<p>① カリキュラムマネジメントに基づいた授業実践と S G H や I B コース (仮称) の取組及び姉妹校交流を結びつけて、生徒の学力を伸ばす。</p> <p>② 「総合的な学習の時間」の課題研究を通して、問題解決能力を伸ばす指導計画及び評価方法を確定する。</p>	<p>① 主体的・対話的で深い学びの授業実践と姉妹校への訪問・受入を計画通り実施し、生徒の満足度が 85% を超えたか。(生徒アンケート)</p> <p>② S G H 終了後の課題研究活動の指導計画及び評価方法を作成できたか(目的の整理と実践)</p>	<p>① 豪姉妹校訪問及び西台韓受入れは事前事後学習を含め計画通り実施し、学習意欲と満足度を高めた。授業アンケートの授業充実度は 90% であった。3 月下旬実施の訪問(米西仏)については出発準備を整えられた。</p> <p>② S G H の成果と授業改善に向けた公開授業を 2 回実施して多くの教職員と協議を深めることができた。</p>	<p>① 本体と新コースの授業をバランスよく実施してよりよい姉妹校交流の実践につながるカリキュラムマネジメントを継続して実施する。I B 担当者との連携を強化し、交流計画が円滑に運営できる体制を整える。</p> <p>② 課題研究活動の目標の見直しと総合的な探究の時間の展開の指導計画を立案できた。</p>	<p>【学校運営協議会委員】 ○日本の文化を学ぶという視点を持ち、教える機会があるとよい。</p> <p>【保護者】 ○他の普通科高校とは異なる環境に飛び込む勇気を持っている生徒が集まっている。I B も本体により影響が出るとよい。</p>	<p>【成果】 ○S G H や公開授業などをおして授業改善を促進できた。 ○姉妹校交流を全て実施して有意義な交流ができた。</p> <p>【課題】 ○本体と I B の 2 つのコースを順調にスタートさせて教育目標実現に向けて適切な振返りを行う。 ・姉妹校交流について日程や内容を見直して費用を抑えて実現させる。</p>

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p>〈生徒指導・支援〉 多様で柔軟な生徒支援体制及び相談体制の確立を図り、規範意識を身に付けさせ、生徒の自己理解と相互理解を深めるきめ細かな指導・支援を行う。</p>	<p>① 年次・グループと連携し、生徒に関する情報共有の緊密化を図り、迅速かつ適切な対応を行う。</p> <p>② いじめを廃絶する活動を生徒会主導で展開する。また、生徒の自主性を尊重した支援や指導を行い、情報活用能力・意思決定能力の伸長を図る。</p>	<p>① 生徒理解を深め成長を目指した適切な対応が迅速にできたか。 (生徒相談事案の検証)</p> <p>② いじめの認識を深め、廃絶することができたか。 (学校生活のアンケート意識度が80パーセント以上) 生徒主体の行事を実施できたか。 (生徒行事の満足度80%以上)</p>	<p>① 多様化する相談事案に適切かつ迅速な対応を行った。</p> <p>② 生徒会生徒を中心に日常生活の「いじめ」について話し合い、ほぼ100%がきちんと意識できていた。</p> <p>③ すべての行事において生徒が主体となって実施した。実施後のアンケートにおいても9割以上の生徒が満足感や達成感を得たと回答した。</p>	<p>① 教育相談コーディネーターを活用した生徒の相談体制を構築する。</p> <p>② いじめや虐待など早めに気づくことができる体制を維持する。</p> <p>③ 新棟建設と行事を両立させ、生徒の充実感を維持できる活動を追究する。</p>	<p>【学校運営協議会委員】 ○教育相談体制を引き続き継続して早期に発見して対応する体制を引き続き維持してほしい。</p> <p>【保護者】 ○卒業式における生徒の送辞・答辞に見られるように生徒はすばらしい成果をあげている。</p>	<p>【成果】 ○生徒会生徒を中心にした主体的な取組が「いじめ」を防ぐ意識を高められた。</p> <p>【課題】 ○SNSなど教員の気づきにくい点について早く気付く必要がある。</p>

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p>〈進路指導・支援〉</p> <p>生徒一人ひとりの進路希望の実現に向け、学習意欲を高め、幅広い学力の習得と定着を図るための授業実践に取り組む。</p> <p>・生きる力の育成を目指し、自主的に将来の進路や職業について深く学び、人生設計ができる資質能力を育む。</p>	<p>① キャリア行事を計画的に実施し、生徒一人ひとりの学習に対する意識やキャリア意識を高めさせる。</p> <p>② 模擬試験などを通じて、学力の充実に向けて主体的に取り組むことができるよう定期的な働きかけを行う。</p>	<p>① キャリア行事や模擬試験の意義と目的を理解し、積極的に取り組んでいるか。（生徒アンケート）</p> <p>② ガイダンスルームを積極的に活用しようとしているか、利用が広がっているか。（生徒アンケート）</p>	<p>① 国内外の大学進学に照準を合わせて、多くの生徒が課題意識を持って説明会に参加し、必要な情報を生かすことができた。</p> <p>② 模擬試験の受験にあたっては、昨年度以上に事前、事後指導に力を入れることにより、生徒の学習意欲向上に結び付けた。</p>	<p>① 国内大学の入試環境の変化や海外進学希望者の増加に対応できるように、指導・支援すべき内容を整える。</p> <p>② 大学定員の厳格化や新入試制度への移行を意識し、生徒のモチベーション低下に繋がらないよう指導・支援内容に留意する必要がある。</p>	<p>【学校運営協議会委員】</p> <p>○大学入試制度や調査書様式の変更への対応ができるように数値でない評価を重視できるようにしてほしい。</p> <p>【保護者】</p> <p>○海外進学した卒業生の講演会など実施できるとよい。</p>	<p>【成果】</p> <p>○多くの生徒が、国内外の大学進学の必要な要件を考えて、取り組むことができた。</p> <p>【課題】</p> <p>○学部学科の多様化の情報を適切に把握して生徒に情報を提供することが必要である。</p>

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p>〈地域との協働〉 社会奉仕と環境問題について重点的に取り組み、生徒が主体的に関わりながら、地域に開かれた学校づくりを行うとともに、地域貢献・国際貢献ができるようにする</p>	<p>① 学校説明会、全公立展等の学校が企画実施・参加する広報行事において、生徒主体の広報活動が展開できるよう、生徒地域連携委員会を指導・サポートする。</p> <p>② 委員会を通じて全校生徒のボランティア活動への参加を呼びかけるとともに、ボランティア活動掲示板の整理を行う。</p>	<p>① 生徒の学校広報活動への関わり方の希望をもとにした活動を展開し、振り返りをさせることができたか。（委員会振り返り）</p> <p>② ボランティア活動掲示板の整備により、ボランティア意識の醸成ができたか。（SGH アンケート）</p>	<p>① 学校説明会の企画運営について地域連携委員会で議論し、活動と振り返りによって、生徒が企画を立てPDCAサイクルに沿った活動を経験的に学ぶことができた。</p> <p>② 地域連携委員を中心に生徒が地域と共催の活動や部活動の成果発表を行ったりした。</p>	<p>① 学校説明会の企画運営について、生徒に聞き取りを行ったり、幅広くアイデアを検討させたりするなどして、本校の魅力を中学生に発信することができる学校説明イベントのあり方を模索する必要がある。</p> <p>② 地域貢献活動がより生徒主体で実施されるよう支援していく必要がある。</p>	<p>【学校運営協議会委員】</p> <p>○4クラス規模の良い側面を見ることができるとよい。</p> <p>【保護者】</p> <p>○防災訓練など地域との交流を大切にしているので、さらに継続してほしい。</p>	<p>【成果】</p> <p>○生徒の視点を生かした広報、学校説明会を実施できた。</p> <p>【課題】</p> <p>○説明会の企画運営など生徒とのアイデアをさらに取り入れる。</p>
<p>〈学校管理・学校運営〉 能率的・効率的な教育活動を行うとともに、生徒の安全のために教育環境を整備し、併せて事故・不祥事防止に努める。</p>	<p>① 私費予算を見直し、生徒の教育活動を充実に向けた会計運用を行い、適正な支出を行う。</p> <p>② 不祥事防止、人権、防災に関して、職員の意識が向上するようなテーマを扱った研修会を実施する。</p>	<p>① 私費執行率の目標を8割以上とし、適正な支出ができたか。（会計報告）</p> <p>② 研修参加率の目標を9割以上とし、充実した研修にできたか。（職員研修アンケート）</p>	<p>① 私費執行率の完全な目標達成は到達できていないが、多くの会計で8割に近い支出となった。</p> <p>② 研修参加率は8割にとどまったが、講師の質が高く、充実した研修を行った。</p>	<p>① 生徒減に伴う収入額の減少に対応した予算を組む。</p> <p>② 参加率を上げるため、定期テスト中にも研修を設定する。</p> <p>③ 新棟工事に配慮した教室配置や付属設備の補充を計画する。</p>	<p>【学校運営協議会委員・保護者】</p> <p>・新築工事については騒音や交通など近隣への影響は全く問題ない。</p>	<p>【成果】</p> <p>○体育館の椅子の交換など設備の改善が進められた。</p> <p>【課題】</p> <p>○開校以来10年以上過ぎて設備見直しが必要である。</p>